

モミガラ燻燃くん炭・燻燃モミ酢液づくりに！

クンネンキ[®] 燻燃器

くん炭の利用

床土、培土に30~100%また覆土に
プール育苗100%くん炭培土に
くん炭マルチで冬も夏も地温安定に
微生物の棲みやすい土壌環境づくりに
堆肥に混ぜて発酵促進に
家畜飼料に混ぜたり、敷床撒布
消化良好、排フン脱臭に

モミ酢液の利用

200~500倍水葉面散布、土壌灌水、溶液栽培に
モミ酢液を蒸散でハウス、温室の虫よけに
水稲散布でカメムシ対策に
モミ酢液において鳥獣害よけに
展着剤的效果、農薬浸透力効果に
モミ酢で畜舎敷床の殺菌・防中に
燻燃中の煙で畜舎の防臭、虫よけに

くん炭のPh 約6~7

モミ酢のPh 約3~4

510SS(ステンレス)

本体サイズ 805×1190mm
投入モミガラ量 約450L
出来くん炭量 約310L
モミ酢回収量 約3L (外気温10℃)
燻燃時間 約7.5H

203AS(耐熱鉄鋼材)

本体サイズ 570×890mm
投入モミガラ量 約180L
出来くん炭量 約125L
モミ酢回収量 約1.5L (外気温10℃)
燻燃時間 約4.5H



手間なく

安全

確実

品質一定

監視不要



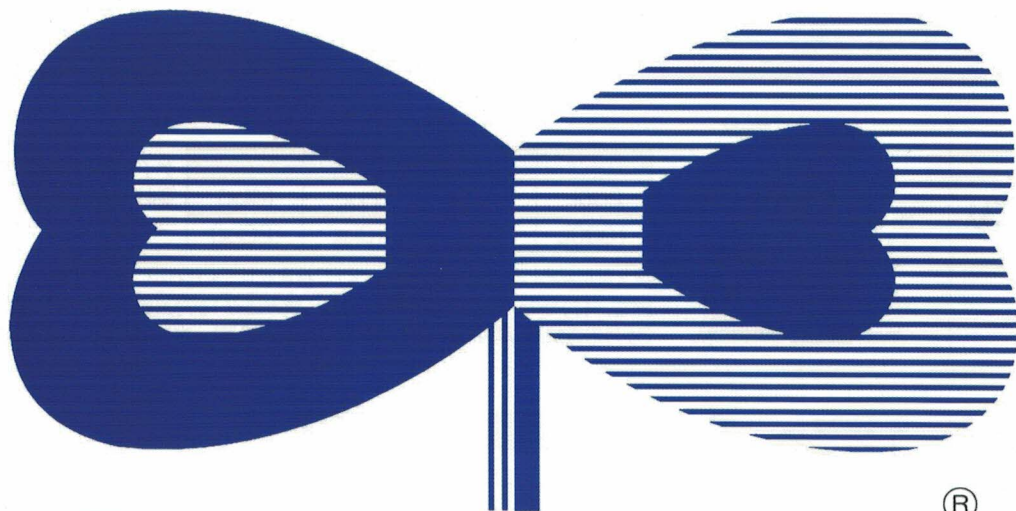
くん炭焼上感知装置 実案No1976991
くん炭、木酢液製造装置/方法 特許No2041028
燻燃炉用えんかつ直立から傾斜 意匠No 866320
くん炭・木酢・吸着肥料製造装置 特許No2059368
燻炭製造装置 実案No3156391

香蘭産業株式会社

〒254-0003 神奈川県平塚市下島546
TEL: 0463-55-0528 FAX: 0463-55-7764

注：仕様、価格は予告なく変更する場合があります。燻燃、燻燃器、クンネン器、クンネンキ、燻燃くん炭、燻燃モミ酢は弊社の登録商標です。

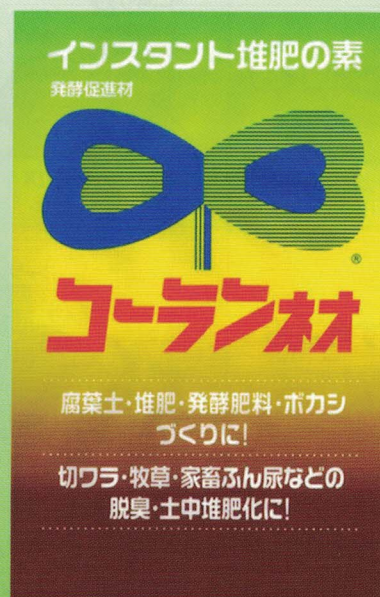
—酵素活性材— **有機物腐熟促進材**



コーランネオ[®]

発酵促進 肥効増進 地力増強 強力脱臭 土壤改良

- 落葉を腐葉土に
- 購入堆肥の完熟化に
- ぼかし肥料づくりに
- 発酵肥料づくりに
- 購入堆肥とともに



コーランネオは酵母、乳酸菌、麹菌培養物を米ヌカに吸着、各種ミネラル・糖・低分子キチンキトサン数種のアミノ酸を特殊組み合わせさせた発酵腐熟促進材です。

コーランネオが微生物の活力素となり有効微生物の増繁殖を促し、発酵分解に伴う微生物の受け継ぎを活発にし発酵分解を早めます。また強力な脱臭作用もあります。

粉末 1kg入 10kg入 20kg入 があります

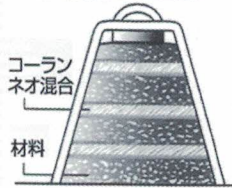
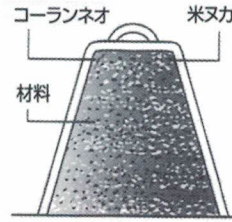

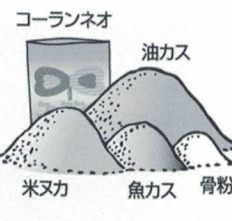
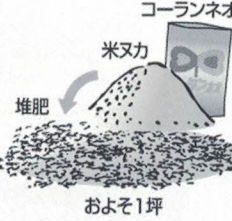
製造 香蘭産業株式会社

〒254-0003 神奈川県平塚市下島546番地 TEL: 0463-55-0528

手軽に良い堆肥や肥料がつくれ、本来の土壌改良ができる

コーランネオの使い方

下記はコンポスト容器等を利用した場合の目安です。量を参考にお使いください。春～秋対象です。冬場は期間を2倍にしてください。

<p>腐葉土・堆肥づくり 落ち葉・雑草・切りワラなど</p>	<p>上にブロックなどの重石をのせると良い</p>  <p>コーランネオ混合 材料</p>	<p>水分目安:はじめ60%→出来上がり40%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用材料</th> <th>コーランネオ</th> <th>米ヌカ</th> <th>ケイフン</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200L</td> <td>400g</td> <td>2kg</td> <td>(4kg)</td> <td rowspan="2">ケイフンは肥料成分を望まない場合必要ありません。材料がオカグズやモミガラの場合はケイフンをご用意ください。</td> </tr> <tr> <td>1000L</td> <td>2kg</td> <td>10kg</td> <td>(20kg)</td> </tr> </tbody> </table> <p>投入前に枯らした材料を良く踏みつけて給水させてください。コーランネオと米ヌカ、ケイフンを混ぜ、材料を4～5等分にし材料と交互に積み込み1ヶ月放置した後、切り返し(かき混ぜ)、2～3ヶ月の後使用します。その間、15日に1回は切り返し、水分が不足していたら加えてください。</p>	使用材料	コーランネオ	米ヌカ	ケイフン		200L	400g	2kg	(4kg)	ケイフンは肥料成分を望まない場合必要ありません。材料がオカグズやモミガラの場合はケイフンをご用意ください。	1000L	2kg	10kg	(20kg)
使用材料	コーランネオ	米ヌカ	ケイフン													
200L	400g	2kg	(4kg)	ケイフンは肥料成分を望まない場合必要ありません。材料がオカグズやモミガラの場合はケイフンをご用意ください。												
1000L	2kg	10kg	(20kg)													
<p>購入した堆肥・腐葉土の再発酵 完熟化 腐葉土・牛フン・豚フン・ケイフンなど</p>	 <p>コーランネオ 米ヌカ 材料</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>使用材料</th> <th>コーランネオ</th> <th>米ヌカ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200L</td> <td>400g</td> <td>1.5～2kg</td> </tr> <tr> <td>1000L</td> <td>2kg</td> <td>6～10kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料全てを良くかき混ぜ水分が握って開くと2つに割れるくらいにします。熱を持ち出すと未熟です。1ヶ月くらいおいてからご使用ください。その間、10日に1度は切り返し、水分が不足していたら加えてください。</p>	使用材料	コーランネオ	米ヌカ	200L	400g	1.5～2kg	1000L	2kg	6～10kg					
使用材料	コーランネオ	米ヌカ														
200L	400g	1.5～2kg														
1000L	2kg	6～10kg														
<p>オススメ! くん炭ボカシ</p>	 <p>①くん炭 ②米ヌカ ④木酢液 ③コーランネオ</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コーランネオ</th> <th>米ヌカ</th> <th>くん炭</th> <th>木酢液</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200g</td> <td>30kg</td> <td>120L</td> <td>200倍に薄めた液10L</td> </tr> </tbody> </table> <p>くん炭-米ヌカ-コーランネオの順に混ぜ合わせ木酢液を除々に加えてください。クロス(土のう)に入れて夏場2～3週間、冬場1ヶ月くらいした後ご使用ください。その間、2～3回切り返ししてください。発酵を止める場合、堆積山を広げてください。</p>	コーランネオ	米ヌカ	くん炭	木酢液	200g	30kg	120L	200倍に薄めた液10L						
コーランネオ	米ヌカ	くん炭	木酢液													
200g	30kg	120L	200倍に薄めた液10L													
<p>発酵肥料づくり</p>	 <p>コーランネオ 油カス 米ヌカ 魚カス 骨粉</p>	<p>(例) お客様の使用目的によって配合内容を変更ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コーランネオ</th> <th>米ヌカ</th> <th>油カス</th> <th>魚カス</th> <th>骨粉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450g</td> <td>6kg</td> <td>10kg</td> <td>4kg</td> <td>2kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>左記配合で、およそ N=5 P=5 K=1 の肥料ができあがります。</p> <p>全てを混ぜ合わせ、2ヶ月くらい発酵させます。水分は50～60%にし、1週間後より2～3回切り返ししてください。そのまま使うか、好みの大きさの団子にして日陰で乾燥させ使用してください。発酵を止める場合、堆積山を広げてください。</p>	コーランネオ	米ヌカ	油カス	魚カス	骨粉	450g	6kg	10kg	4kg	2kg				
コーランネオ	米ヌカ	油カス	魚カス	骨粉												
450g	6kg	10kg	4kg	2kg												
<p>土中すき込み 畑にまいた堆肥やきゅう肥、切ワラ、牧草、作物残さと共に</p>	 <p>コーランネオ 米ヌカ 堆肥 およそ1坪</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>面積</th> <th>コーランネオ</th> <th>米ヌカ</th> <th>堆肥</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1坪</td> <td>60～70g</td> <td>300g</td> <td>粗大有機物を分解したもの きょう肥: 家畜糞尿を分解したもの</td> </tr> </tbody> </table> <p>牧草や作物残さは細断の上、良く枯らしてから土に混ぜてください。材料と共に散布し、土と良く混ぜてください。3～4週間後定植する。</p> <p>10aに施用の場合(コーラン15～20kg、米ヌカ50～60kg)</p>	面積	コーランネオ	米ヌカ	堆肥	1坪	60～70g	300g	粗大有機物を分解したもの きょう肥: 家畜糞尿を分解したもの						
面積	コーランネオ	米ヌカ	堆肥													
1坪	60～70g	300g	粗大有機物を分解したもの きょう肥: 家畜糞尿を分解したもの													

堆肥化における菌類(微生物)の受け継ぎ

肥沃な土壌に微生物の数は数千万から数億も生息していると云われます。土壌微生物、発酵微生物、危険な微生物など肉眼では観察できない小さな生き物です。古来自然界でこのような生き物を利用した働きの一つが堆肥化やボカシなど農園芸で利用される有機物の有効化であります。条件よく堆肥化を行った場合、初期段階としてカビ類(酵母、糸状菌)が盛んに繁殖活動し40℃以上に発熱します。熱に弱いカビ類は熱に強い放線菌や桿菌の栄養になりながら繊維質のセルロースやリグニン(木質系)などを分解・増繁殖し、60℃以上の高温になり、酸素の取り合いをし、嫌気性菌も活動を始めます。堆肥化は好気性菌だけでなく、部分的には嫌気性菌も役割を担っています。この堆肥化の山を切り返し酸素を補い繰り返すと良い堆肥が出来上がります。このように単一の微生物ではなく多くの微生物によってつくられてゆきます。又、堆肥化する材料などに適した土着微生物等も受け継ぎに重要な働きをします。

堆肥は作付の2～3週間前に施し、耕しておくことが基本です。

本品は肥料や農薬ではありませんので直接植物に与える事は出来ません。必ず有機物や土壌に作用させてからお使いください。本品は有機酸を含んでいます。石灰類と同時に混合をしないで下さい。使用後は直射日光・高温多湿を避けよく封を閉じ保管ください。長期間保存使用出来ます。たえず新しい技術を取り入れて予告なく改良しております。